

「若年女性のスポーツ障害の解析とその予防と治療」に関する研究実施のお知らせ

本教室では、「若年女性のスポーツ障害の解析とその予防と治療」に関する研究を行っています。研究目的及び方法、下記となります。

【目的】

女性アスリートが抱える婦人科の問題は、無月経、利用可能エネルギー不足、骨粗鬆症で定義される「女性アスリートの三主徴」と月経困難症や月経前症候群等の「月経随伴症状」に分けられます。これらの疾患に対する医学的介入は、「障害予防」と「コンディショニング」の点から重要ですが、本邦ではこれまで適切かつ統一した医学的介入が行われていない現状にあります。本研究は、女性アスリート及び指導者の月経周期異常や月経随伴症状の実態を明らかにし、治療指針を作成することを目的としています。

【研究の方法】

本研究は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構「女性の健康の包括的支援実用化研究事業」に採択された研究課題です。本学が代表研究機関となり、無月経や月経困難症、月経前症候群等6つの分担課題を設定し、各課題に対し分担研究者を配置します。本学の調査においては、H25年度～H27年度にスポーツ庁の受託事業により国立スポーツ科学センターが調査を行った採血や骨密度等のデータに、本学で実施した新たなデータを追加して解析を行います。このデータの2次利用については、個人情報を含まない資料であり国立スポーツ科学センターから東大へ送られ解析されます。また、研究結果については、学会や論文、ホームページ等で公開させて頂く予定です。

お気づきの点やご不明な点がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

2016年4月

能瀬 さやか（ノセ サヤカ）

東京大学医学部附属病院女性診療科・産科

住所：〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL：03-5800-8892 FAX：03-3816-2017